

## 検体検査装置の停止・起動手順

装置により手順が異なります。計画停電時は下表を参照のうえ、停止・起動を行ってください。

### <装置別停止・起動手順>

	機種名	停止方法	起動方法
糖分析装置	Glucoroder-GXT / R GA03T / R	「メニュー」→「パラメータ」より「PRINT」を押してパラメータを印字し、印字が終わりましたら、電源を OFF にします。	電源を ON にします。 電源 OFF 前のパラメータと相違ないことを確認し、1 時間程度安定を待ちます。 プライムを入れ、プレキャリブレーション・コントロール確認を行った後測定します。 ※バッテリーエンプティのメッセージが出た場合は、パラメータを再入力してから測定してください。
	GA05 Glucoroder NE	「メニュー」→「パラメータ」より「インサツ」を押してパラメータを印字し、印字が終了したら電源を OFF にします。	電源を ON にします。 電源 OFF 前のパラメータと相違ないことを確認し、1 時間程度安定を待ちます。 プライムを入れ、プレキャリブレーション・コントロール確認を行った後測定します。
	GA08 GA08 II	「メニュー」→「パラメータ」より「PRINT」を押してパラメータを印字し、印字が終了したら電源を OFF にします。	
	GA06 GA08 III GA09 GA09 II GA09 II α	「メニュー」→「メンテナンス」→「パラメータ」より「PRINT」を押してパラメータを印字し、印字が終了したら電源を OFF にします。	
電解質 分析装置	EA06T / R	「メニュー」→「パラメータ」よりパラメータを印字し、印字が終わりましたら、電源を OFF にします。  ※1 日以上電源を OFF にする場合は、Cl 電極・Ref 電極を装置から外し、緩衝液または蒸留水につけて保存してください。	電源を ON にします。 電源 OFF 前のパラメータと相違ないことを確認し、プライムをした後にキャリブレーション・コントロール確認を行い測定します。  ※電極を外していた場合は、起動する前に電極をよく拭いてから装置に取り付けてください。 ※バッテリーエンプティのメッセージが出た場合は、パラメータを再入力してからキャリブレーションを行い、測定してください。

電解質 分析装置	EA07	<p>「メニュー」→「パラメータ」よりパラメータを印字し、印字が終わりましたら、電源を OFF にします。</p> <p>※1 日以上電源を OFF にする場合は、Cl 電極・Ref 電極を装置から外し、緩衝液または蒸留水につけて保存してください。</p>	<p>電源を ON にします。 電源 OFF 前のパラメータと相違ないことを確認し、プライムをした後にキャリブレーション・コントロール確認を行い測定します。</p> <p>※電極を外していた場合は、起動する前に電極をよく拭いてから装置に取り付けてください。</p>
	EA09 EA10M	<p>「メニュー」→「メンテナンス」→「パラメータ」より「PRINT」を押しパラメータを印字し、印字が終わりましたら、電源を OFF にします。</p> <p>※1 日以上電源を OFF にする場合は、Cl 電極・Ref 電極を装置から外し、緩衝液または蒸留水につけて保存してください。</p>	
	EA08M	<p>「Func」→「プリンタ」→「切替」→パラメータ「印字」を押して印字します。</p> <p>メニューより、「EA08 停止」を選択してから電源を OFF にします。</p> <p>※1 日以上電源を OFF にする場合は、Cl 電極・Ref 電極を装置から外し、緩衝液または蒸留水につけて保存してください。</p>	
血液凝固 分析装置	CG02	<p>「ESC」→「3)プリントアウト」→「3)パラメータ」→「1:YES」でパラメータを印字し、印字が終わりましたら試薬カードが挿入されていない事を確認し、電源を OFF にします。</p>	<p>電源を ON にし、加温を待って測定します。</p>
	CG02N	<p>「メニュー」よりパラメータ及び環境設定を印字し、印字が終わりましたら試薬カードが挿入されていない事を確認し、電源を OFF にします。</p>	

※ 通電状態のまま停電になった場合は、「起動方法」と同様の処置を行ってください。

機種によっては停電前にバッテリーが無かった場合、パラメータが消失します。その為、事前にパラメータの印字を行い、そのデータを保存しておいてください。